

# 6-2 Department of Psychological Science 心理科学科

## 情報フロンティア学部 心理科学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、心理科学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(情報学)の学位を授与する。  
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力  
E 図形コミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～N

I 心の基礎的理解力 J 心理整理データ分析能力 K 心理学研究遂行能力 L 心の応用的理解と実践能力 M 心の臨床的理解と実践能力 N キャリアデザイン能力

## 教育目標

人の心のはたらきについて理解し、それを役立てることは日常生活の中においてのみならず産業界におけるものづくり、コトづくりにおいても重要になってきている。本学科では心のはたらきに関する知識を得ることに加え、心のはたらきを臨床現場に適用するための技術、感性と心のはたらきを科学的に測定し実社会に応用するための技術、脳・神経の仕組みと心のはたらきの関係を理解するための技術を持つ人材を育成する。

課程区分	科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業に必要な最低単位数		
		1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	課程共通
修学基礎教育課程	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②							4	—	—
	技術者倫理			▶ 技術者と持続可能社会 ②		▶ 科学技術者倫理 ②				4	—	—
	人文社会科学・外国語		■ 日本文学の世界 ② ■ 人間と哲学 ② ■ 法と社会 ② ■ 経済と社会 ②	▶ 日本学(日本と日本人) A ① ▶ 日本学(日本と日本人) B ① ■ 心こころのはたらき ② ■ グローバル社会(ヨーロッパ) ② ■ グローバル社会(アジア) ② ■ 芸術へのアプローチ ②	■ 科学技術と社会 ② ■ 技術者のためのコミュニケーション ② ■ 企業の組織と戦略 ②	※1	■ 日本国憲法 ② ■ 韓国語入門 ② ■ 国際関係論 ② ■ 危機管理論 ②			2	4	※2
	生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①							2	—	—
	人間と自然	▶ 人間と自然								合格が卒業要件	—	—
生涯学習	□ 生涯学習特別講義		□ 指定放送大学科目							—	—	
英語教育課程	英語	■ イングリッシュピックス1 ② ■ イングリッシュピックス3 ② ■ イングリッシュピックス5 ②	■ イングリッシュピックス2 ② ■ イングリッシュピックス4 ② ■ ビジネスコミュニケーション1 ②	■ イングリッシュピックス3 ② ■ ビジネスコミュニケーション2 ② ■ ビジネスコミュニケーション2 ②	■ イングリッシュピックス4 ② ■ ビジネスコミュニケーション1 ② ■ イングリッシュピックス4 ②	基礎 初級(案1) 初級(案2) 中級(案1) 中級(案2) 中級(案3)	「修学のための学力診断(英語)」の結果から、学生の学習に適したレベル設定(基礎、初級、中級)を実施します。			—	8	※2
		■ TOEIC 初級 ② ■ TOEIC 中級 ② ■ インテンシブイングリッシュ ②		■ アカデミックリーディング1 ② ■ ライティングベーシック ② ■ STEM イングリッシュ ②	■ アカデミックリーディング2 ② ■ アカデミックプレゼンテーション ② ■ イングリッシュセミナー ②	■ アカデミックリーディング1 ② ■ ライティングベーシック ② ■ STEM イングリッシュ ②						
数理DS・AI教育課程	数理基礎	▶ 線形代数 I ② ▶ 情報のための数学 ④ ▶ 基礎情報数理 ②	□ 線形代数 II ② □ 情報数理 A ② ▶ A I 基礎 ① ▶ データサイエンス基礎 I ①	□ アドバンス情報数理 A ② □ 基礎化学 ② □ 基礎物理 ② □ 基礎生物 ② 一部科目の記載はp97-98参照	□ 情報数理 B ② □ アドバンス数理 B ② □ 技術者のための統計 ② ※1					11	4	
	基礎実技	▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ② ▶ ICT入門 ① ▶ データサイエンス入門 ①	▶ プロジェクトデザイン I ② □ グローバルPD ②	▶ プロジェクトデザイン II ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ② ※1					10	—	
専門教育課程	専門科目	▶ 情報フロンティア大意(心理科学) ① ▶ 心理学概論 A ② ▶ 心理学データ解析基礎 ②	▶ 心理学概論 B ② ▶ 心理学研究法 ② □ 臨床心理学概論 ②	▶ 心理学のためのプログラミング I ② ▶ 心理学実験 ② ▶ 心理学統計法 ② ▶ 心理学基礎実験実習 I ② □ 教育・学校心理学 ② □ 心理調査法 ② □ 知覚・認知心理学 A ②	□ 感性評価法 ② □ 心理学基礎実験実習 II ② □ 心理学データ解析応用 ② □ 心理学のためのプログラミング II ② □ 健康・医療心理学 ② □ 観察法 ② □ 脳生理データ解析実習 ②	▶ 心理科学専門実験・演習 A ③ □ 人体の構造と機能及び疾病 ② □ 神経・生理心理学 ② □ 社会・集団・家族心理学 ② □ 心理学的支援法 ② □ 学習・言語心理学 ② □ 産業・組織心理学 ② □ 障害者・障害児心理学 ② □ 知覚・認知心理学 B ②	▶ 心理科学専門実験・演習 B ③ □ 心理演習 ② □ 脳情報科学 ② □ 発達心理学 ② □ 消費者心理学 ② □ 感情・人格心理学 ② □ 心理的アセスメント ②	□ 公認心理師の職責 ② □ 精神疾患とその治療 ② □ 福祉心理学 ② □ 司法・犯罪心理学 ② □ 関係行政論 ② □ 心理実習 ③		60	—	※2
	専門プロジェクト科目						▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザイン III ⑧		9	—	
その他						□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①			—	—	

▶ 必修科目 ■ 選択必修科目 □ 選択科目

○付数字は単位数を表す。

※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。

※2：「課程共通」は、「人文社会科学・外国語」、「生涯学習」、「英語」、「数理基礎」、「基礎実技」、「専門科目」の科目群の中から、6単位を修得すること。

合計

124

カリキュラムガイド

詳細は次ページへ

キーワード

感性とはたらき

脳・神経の仕組み

データ解析技術

臨床心理学

科目群の主な学習・教育目標

**心のはたらきを理解し、臨床現場に適用するための基礎能力**

心理学の主要な領域で積み重ねられてきた人間の心のはたらきに関する基本的な知識を体系的に学習するとともに、それらの知見がさまざまな分野に活用されていることを理解する。また体験・実習を通じて、自らが心理学を応用した専門的援助者になるための基礎的な技術を身につける。

**感性とはたらきを科学的に測定し実社会に応用する能力**

人間の心や感性のはたらきを科学的に測定するための方法を理解し、使いこなすことができる能力を身につける。また、科学的な方法によって得られた人間の心や感性のはたらきについての知見を実社会に応用し、製品やサービスの改善や新たな提案をしていくことができる。

**脳・神経の仕組みと心のはたらきの関係を理解する能力**

心のはたらきは脳を含む神経系の働きによって支えられている。脳、神経系の仕組みと人間の身体、生理機能に関する知識を得るとともに、それらと密接に関わる心の働きである知覚、認知との関係を知る。さらにそれらの働きを測定するために必要な情報処理およびデータ解析に関する技術を身につける。

**プロジェクト遂行能力**

心のはたらきが関わる諸問題について、これまでに学んできた知識を活用して、科学的な方法を用いた研究を計画、遂行し、レポートやプレゼンテーションにより明確に表現できる。

**キャリアデザイン能力(N)**

実社会において心理学の知識が生かされる場面を理解し、社会の動向、求められる人物像、就職環境などを把握して、将来の進路を展望し、自らの進むべき方向を決定できる。

学ぶ領域

①心理感性評価

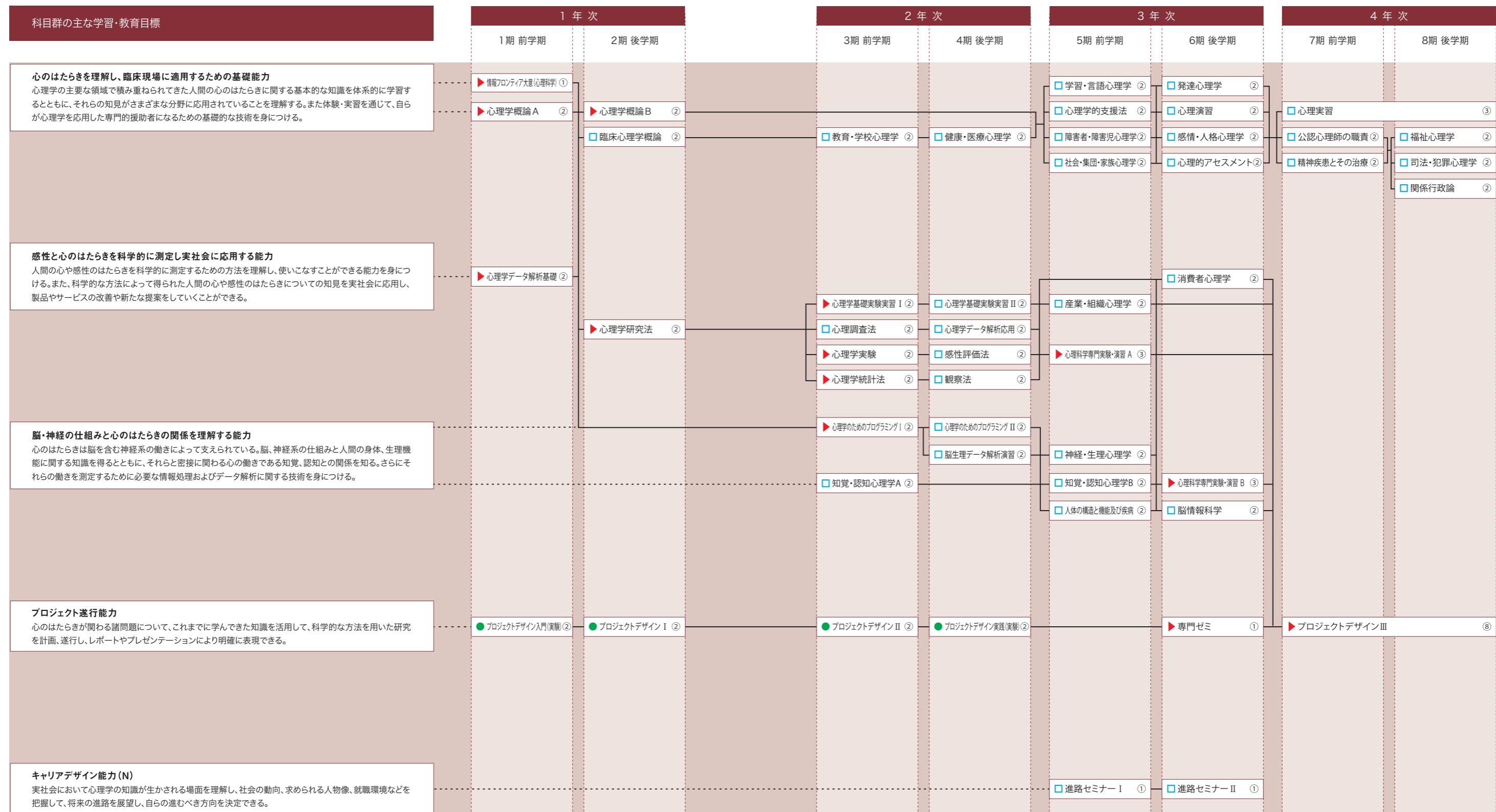
心理感性評価の科目群では消費者心理、人間工学、ヒューマンインターフェースなど、ものづくりシステム設計への応用を見据えた知識、技術を身につける。

②脳・生理機能

脳・生理関係の科目群では、産業界で必要とされることが多くなってきた脳や生体に関する知識や、その測定技術を獲得することを目指す。

③心理学

心理学関係の科目群では知覚、感情、学習といった人間のこころの働きや、社会心理、コミュニケーション心理、カウンセリングといった人間関係について学ぶ。



▶ 必修科目 □ 選択科目 ● 他課程の科目